

広報 2016年 No.40



なが 119



特集

いつ来るか分からない災害に 防災力を高めよう!!

- P2. 平成28年の災害から考えること
- P3. 非常持出品を準備していますか?
- P4. 防災力を備える活動が広がっています
- P5. 住宅用火災警報器・適マークについて
- P6.7 消防ホットニュース 平成27年消防白書・病院案内
- P8. 平成28年度防災ひとつづくり事業 各部門優秀賞受賞者・作品紹介
消防出初式案内・消防プレゼントクイズ

いつくるか分からない災害に **防災力**を高めよう!!



熊本地震

4月14日(木)21時26分熊本県熊本地方を震央とする震源の深さ11km、マグニチュード6.5の地震が発生。熊本県益城町で震度7を観測しました。



台風10号

8月30日から31日にかけて日本列島に接近・上陸した台風10号は、河川決壊や土砂災害など岩手県、北海道を中心に大きな被害をもたらしました。

鳥取県中部地震

10月21日(金)14時07分に鳥取県中部、深さ10kmでマグニチュード6.6の地震が発生。



熊本豪雨

6月20日(月)熊本県甲佐町では0時19分までの1時間に150mmの猛烈な雨を観測。熊本県内では過去最大で各地に土砂災害や冠水被害がでました。

南海トラフ巨大地震

30年以内にマグニチュード8～9クラスの巨大地震が起こる確率



70%

平成28年4月14日21時26分、熊本県熊本地方の深さ11kmを震源とするマグニチュード6.5(最大震度7)の熊本地震が発生。九州各地で多数の死傷者が出たり、家屋の倒壊や土砂災害など甚大な被害をもたらしました。

また、夏には台風が連続して日本列島に接近・上陸し、河川の決壊や冠水等の被害が発生しました。また、集中豪雨や竜巻などへの対応も必要となりました。

また近く発生が予測されている南海トラフ大地震ですが、ひとたび発生すれば大規模な災害が予想され、津波を伴う沿岸地帯から、内陸を含め今まで経験のない広範囲の被災を考えると、消防隊を含めあらゆる公共による救助活動の限界が想像でき、また他県の応援態勢も厳しい状況も伺えます。

これらのことから、災害に「備え」、発生すれば「自助・共助・公助」の必要性をあらためて強化しなければなりません。

那賀消防組合ではこのような大災害から日頃から遭遇する小さな事故による応急手当まで幅広く、幼年期から高齢者の方まで、全ての方が災害に強い安心して暮らせるまちづくりをめざしています。

災害に備えて被害を最小限に!!

防災のキーワードとして「**自助**」「**共助**」「**公助**」という言葉がよく使われます。自助とはいざという時のために自分や家族で備える事です。共助は地域一丸となって助け合うこと。公助は行政が行う総合的な防災対策などのことです。これらの3つの「**助**」が支えあう事で、減災につながります。



自分で守る

自助

自分自身や家族で備える

- * 家具固定
- * 住まいの耐震化
- * 飲料水、非常食の備蓄

みんなを守る

共助

自主防災組織、ボランティアなどに参加する

- * 防災訓練に参加する
- * 地域の安全点検をする

公的機関が守る

公助

市町村、消防、警察、自衛隊などの公的機関の支援

- * 防災対策の推進
- * ハザードマップの作成



非常持出品を準備していますか？

リュック等にひとまとめにし、すばやく避難するために持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

非常時持出品リスト

- 飲料水
- 非常食
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- ヘルメット (防災頭巾)
- 救急医薬品 (常備薬、マスク等)
- 貴重品 (保険証のコピー、小銭)
- タオル
- ガムテープ等
- 衣類 (下着や雨具)
- ポリ袋、レジ袋
- 文具 (ペン、ハサミ)
- 携帯電話の充電器
- 軍手
- ライター

※上記のものは一例です。家族に合ったものを準備してください。

防災センターでは非常持出品の展示をしています。非常持出袋の重さは女性10kg、男性15kgが目安で、重さを実感していただけるコーナーや浄水装置も展示しています。

ぜひ、防災体験・救命講習などの機会に防災センターを利用しお気軽にお越しください。



防災センター非常持出品展示コーナー

防災訓練実施

岩出中学校と岩出第二中学校が参加。若い世代の力が期待が高まっています。



避難訓練実施

安楽川保育園で避難訓練を実施。あわてずに避難できました。



消火器取り扱い訓練

事業所の方々も定期的に防災訓練を行っています。



防災力を備える活動が広がっています

熊本へボランティア

今年4月に発生した熊本地震。那賀消防組合の職員が熊本でボランティア活動をしました。



熱心な自主防災組織

自主防災組織や各団体の方々防災訓練を精力的に行っています。防災意識の高まりが見受けられました。



小学生の防災体験

小学4年生が、校外学習の一環で防災センターへ訪れ、地震体験や煙避難体験などを行いました。



管内の活断層を見てみよう!!

岩出市の緑花センター西側 大規模農道沿いにある活断層

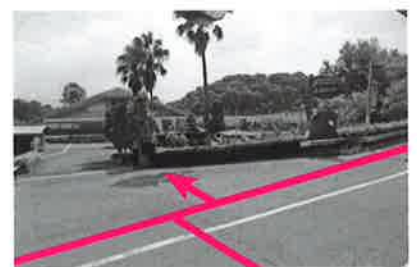
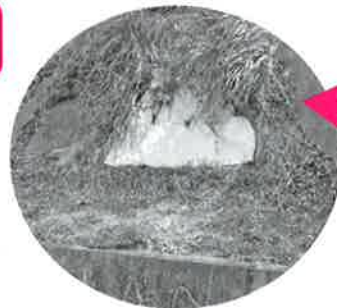
シート奥には、過去に激しく活動した断層帯が見られます。数十メートル横の活断層は上下入れ替わる断層帯が見られ、激しく変動した形跡があります。この断層は全国的に有名であり、地質学者では有名な観察場所です。

また、緑花センターの正面入り口にある「溝」。過去の変動の積み重ねで大規模農道をはさみ約40メートルのずれが観測されます。

1回の活断層の変動(地震)で約2メートルずれたそうです。



(紀の川市にある桜池)



(緑花センター入口)

さらに東に行くと、近畿大学がありその東側斜面では活断層が縦断し、コンクリートで補強されている箇所があり、池の地下はるか下に縦断しています。紀の川市にある桜池からこの山間を通過し、遠く奈良県に入り、五条谷断層へとつながり、さらには数々の県を縦断する大規模な中央構造線断層帯です。



住宅用火災警報器の維持と管理について

家庭内での火災の発生をいち早くキャッチして、知らせてくれる「住宅用火災警報器」の設置が義務化され、そろそろ10年が経過しようとしています。もしもの時に作動しなかった・・・ということがないように、電池交換等の定期的な点検をお願いします。



※定期的に掃除をしましょう！

ホコリが入ると誤作動を起こす原因になります。

掃除の方法は機種によって違いますので、取扱説明書でご確認ください。

※電池切れに注意!!

電池確認のため、年2回は作動確認をしましょう。方法として、点検ボタンを押すか、点検ひもを引っ張ることで確認でき、それでも警報音が鳴らない時は電池切れか、本体の故障が考えられますので、速やかに電池か機器本体の交換をお願いします。

※設置から10年以上経過している場合は本体の交換をおすすめ!

電子部品の寿命や電池切れで火災を感知しないことがあるため、とても危険です。取替えの目安は10年ですので、電池か機器本体の交換をお願いします。新しいものに取替えた場合は、本体の側面に油性ペンなどで設置年月日を記入しておいてください。

宿泊施設の防火対象物適合表示制度



「適マーク制度」を知っていますか？

平成24年5月に発生した広島県福山市のホテル火災を受けて、火災被害の拡大防止対策の一環として、平成26年4月から「ホテル・旅館等の適マーク制度」が始まりました。この制度は、消防法令や建築基準法令に定められた防火・防災上一定の基準に適合している3階建て以上で収容人員が30人以上のホテル・旅館等であれば、消防機関が交付する「適マーク」を建物のフロント等及びホームページに掲出できるものです。



また、利用する方々に、防火安全に関する基準に適合した宿泊施設であることをお知らせし、安全・安心な宿泊施設を利用していただくことを目的としています。

全国の消防機関でこの制度を通じて、ホテル・旅館等の利用者に対して、ホテル・旅館等の防火・防災安全に関する情報を提供しています。

消防ニュース



★NBC特殊災害対応訓練を実施!!

「NBC」災害訓練とは、毒ガス・生物兵器・放射能等の化学兵器を含む多様に対応する訓練です。消防庁舎で実際に硫化水素を発生させ、実災害と条件を同じにし、ホットゾーン等（最も危険な警戒区域）の設定し救出から中和作業を実施しました。「模擬訓練」ではなく「実訓練」ともいえる油断ができない状況ですので、隊員たちは完全装備である「化学防護服レベルA」を着装して緊迫した訓練を実施しました。

★両市新人職員が消防署で研修

紀の川市・岩出市の両市新人職員が那賀消防組合で、新規採用職員研修を一ヶ月間実施しました。

公務員の基礎知識や服務研修をはじめ、放水体験やロープ渡りなど消防署ならではの体験研修をしました。



写真は管内のかつらぎ山で山林実地踏査の状況です。普段の生活では車社会ですが、長距離の山道を歩きながら山林の地形等を調査しました。新人職員たちは立派に研修を修了しました。

★那賀消防潜水隊「川猿」

潜水器具等を装備し、溺れた人を救出する水難救助活動を行う隊で、映画では海猿が有名ですが那賀消防管内では海がなく、河川や池で活動するので、とりわけ「川猿」というわけです、この隊員は



選考基準に合格し、潜水士国家資格に合格した11名です。写真は8月に実施した和歌山県消防学校での訓練風景で、溺れた人を水中から助ける訓練です。

消防白書

火災のよつす

平成27年中の紀の川市、岩出市で発生した火災は24件で、火災損害額は9千740万6千円でした。

これを前年と比較すると、火災は1件、損害額は1億653万8千円の減少となっています。火災種別では建物火災が16件と最も多く、車両火災は4件、その他火災も4件となっています。

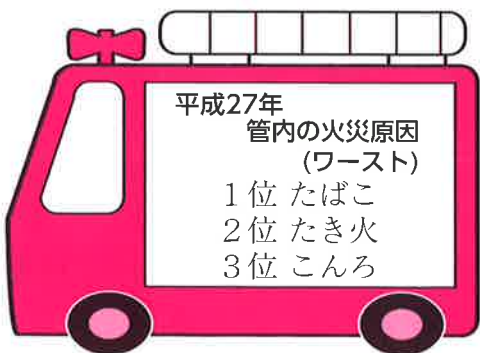
		紀の川市	岩出市	合計
建物	件数	12件	4件	16
	焼損面積	483㎡	457㎡	940㎡
車両	件数	3件	1件	4件
	焼損車両	3台	1台	4台
その他	件数	3件	1件	4件
	焼損面積	718㎡	0㎡	718㎡
計	件数	18件	6件	24件
	損害金額	4,566万円	5,174万6千円	9,740万6千円

統計上の

火災件数は24件ですが、ひとつの間違えば火災となる軽微な災害への出動が167件ありました。



次に打火率は一日平均0.07件、損害見積額は26万7千円で火災一件当たり平均損害額4百5万9千円となり、建物の一日平均焼損面積は、2.6㎡で、火災一件当たり焼損面積は58.8㎡となっています。



これからの季節、火を取り扱う機会が多くなると思いますので、火の元には十分な注意をお願いします。

★消防団ポンプ操法大会に出場

7月31日和歌山市せせらぎ公園で、第26回和歌山県消防ポンプ操法大会が行われました。大会に出場した紀の川市の消防団員はそれぞれの仕事を終えた後、懸命に訓練を続け、優秀な成績を収めました。



力強く一生懸命な姿がとても頼もしく感じました。前回は岩出市の消防団が出場して訓練成果を活かし市民の安心・安全を守っています。

★子ども防災博士意見発表会

8月17日、紀の川市生涯学習センターで「子ども防災博士意見発表会」を開催しました。管内の全小学校22校から推薦された6年生の児童が参加しました。



子どもたちは阪神淡路大震災・東日本大震災また、熊本地震などから水や非常食の備えや日頃から家族で避難場所を話し合っておくことの大切さなど、自分の思いや考えを発表しました。

救急・救助のようす

平成27年中の救急出動件数は5,032件で、前年に比べ291件増加し、1日平均14件の出動となりました。紀の川市および岩出市の市民25人に一人が搬送されたことになりました。次に、重傷者を搬送するドクターヘリの要請件数は26件で前年に比べ9件の減少となりました。



【写真】後列左から 尾ノ岡、石上、田ノ岡
前列左から 中川、竹内、岡本

那賀消防組合ニューフェイス6人誕生!!

- ★田ノ岡裕哉 努力を怠らずに頼られる消防官になります。
- ★石上 元基 市民に頼られるような消防士になります。
- ★尾ノ岡拓実 市民が安心・安全な街づくりを。
- ★竹内 大裕 市民が安全に暮らせるように頑張ります。
- ★中川裕美子 優秀な救命士になります。
- ★岡本 卓也 何事にも頑張ります。



		紀の川市	岩出市	管 外	合 計
救急出動件数	病 故	1,844	1,333	0	3,177
	通 車	301	286	2	589
	一 般	416	318	0	734
	の 他	347	185	0	532
	そ の 計	2,908	2,122	2	5,032
救助出動件数	交 通	16	19	0	35
	火 災	22	13	1	36
	機 械	0	1	0	1
	の 他	21	9	0	30
	そ の 計	59	42	1	102



病院案内

日曜、休日等に診療が可能な医療機関等を次に記載してありますので切り取ってご利用ください。

▼和歌山県救急医療情報センター

☎073・426・1199

24時間体制で最寄りの医療機関を案内します。

▼那賀休日急患診療所

☎0736・77・6410

日曜日、祝日及び年末年始診療可
午前9時～午後4時30分

▼和歌山市夜間休日急患診療センター

☎073・425・8181

休日 午前10時～午後5時
夜間 午後8時～午前6時
ただし、土曜、休日の夜間は
午後7時～午前6時

▼子ども救急相談ダイヤル

☎073・431・8000

毎日午後7時～午後11時
専門の看護師が相談に応じます。

▼和歌山市歯科休日急患診療センター

☎073・428・3588

休日 午前10時～午後5時

※問い合わせは、

119番を使用せず、一般加入電話

☎0736・61・1791

(通信指令課)

にかけるようお願いいたします。

平成28年度 防災ひとづくり事業
「写生画・ポスター・標語・意見発表」優秀賞受賞者

子ども防災博士意見発表会の部

【最優秀賞】

上岩出小学校

太田 快規

「一言」からはじまる防災

【優秀賞】

調月小学校

西岡 花凜

【最優秀賞】
防火・防災・救急ポスターの部

【最優秀賞】

安楽川小学校

塩塚 翔太



【優秀賞】

長田小学校

井上穂乃果

中貴志小学校

安田 絢

山崎小学校

佐々木埜乃

消防車・救急車写生画の部

【最優秀賞】



西貴志保育所
山野 優人

【優秀賞】

竜門保育所

谷口 柚香

根来保育所

北垣 朱梨

和歌山中央幼稚園

笠松さくら

【最優秀賞】
防火標語の部

【最優秀賞】

岬町

有本 尚生

火事出すな
心の中に警報器

【優秀賞】

岩出市

今田 里弘

紀の川市

林 七海

橋本市

林田 政司

救急車の
適正利用に
ご協力を
お願いします



ここ数年、毎年救急出動が増加しています。限られた台数しかない救急車を緊急性がないのに要請すると1分1秒を争う生命の危険がある急病人やケガ人への対応が遅くなり、救える命が救えなくなる恐れがあります。今一度、救急車の適正利用について考え、市民の皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願ひします。

消防プレゼントクイズ

本誌を読んでカッコに当てはまる言葉と、住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見、ご感想を官製はがきにご記入の上、左記へお送りください。正解者の中から抽選により20名様に景品を差しあげます。

問題

いつ来るか分からない災害に () を高めよう

●応募先

〒649-6215

岩出市中迫154番地

那賀消防組合（防災センター）

●応募締め切り

平成29年1月31日（当日消印有効）

発表は景品の発送をもって、かえさせていただきます。

※ご応募いただいた内容については那賀消防組合で適切に管理し、第三者に開示することは致しません。



那賀消防組合消防出初式

★とき 平成29年1月9日（月）

午後1時30分から（予定）

★ところ 紀の川市桃山町段

桃山グラウンド

出初式では救助訓練披露や一斉放水、各種展示体験コーナー、幼年消防クラブによる防火演技を予定していますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。



※災害情報テレホンサービス
20736(61)1889

編集・発行

那賀消防組合消防本部 〒649-6215 岩出市中迫154番地
20736(61)0119 FAX0736(61)0810
ホームページアドレス <http://www.nagai119.gr.jp>